

祝

フランクフルト市・裾野市

姉妹都市提携



1982.2.22

於 裾野市民會館

# フランクストン市・裾野市 盟約書

**Declaration**

The Mayor and Council of the City of Frankston in the State of Victoria, Australia, and the Mayor and City Assembly of the City of Susono Shizuoka Prefecture Japan believe that the promotion of friendship and goodwill and the development of educational, cultural, social and economic exchanges between the people of the two Cities will strengthen knowledge and understanding between Australia and Japan and so in turn, transcend national and political boundaries to form an ever lasting foundation for the peace and wellbeing of mankind. NOW BEFORE the Mayor and Councilors of the City of Frankston, and the Mayor and City Assembly of the City of Susono do hereby proclaim the affiliation of the two Cities as Sister Cities.

In becoming Sister Cities, the Council and the City Assembly pledge that they will do all in their power to assist in the exchange of people and of information on culture, education, recreation, custom, economic and community affairs and that they will encourage the development of friendship between the people of all ages of both Cities and so develop a bond, one with the other.

**Proclamation**

The parties hereto have executed this Proclamation Document at the Affiliation Ceremony held in Frankston and Susono on the 22nd day of February 1982.

THE GOVERNMENT OF THE STATE OF VICTORIA, AUSTRALIA, AND THE COUNCIL OF THE CITY OF FRANKSTON DO HEREBY AUTHORISE THE MAYOR AND COUNCILORS OF THE CITY OF FRANKSTON TO SIGN THIS PROCLAMATION ON BEHALF OF THE CITY OF FRANKSTON.

\_\_\_\_\_  
Mayor

\_\_\_\_\_  
Councilor

\_\_\_\_\_  
Councilor

THE GOVERNMENT OF THE STATE OF SHIZUOKA PREFECTURE, JAPAN, AND THE CITY ASSEMBLY OF THE CITY OF SUSONO DO HEREBY AUTHORISE THE MAYOR AND CITY ASSEMBLY OF THE CITY OF SUSONO TO SIGN THIS PROCLAMATION ON BEHALF OF THE CITY OF SUSONO.

\_\_\_\_\_  
Mayor

\_\_\_\_\_  
City Assembly Member

\_\_\_\_\_  
City Assembly Member

市川 武

**フランクストン市と裾野市との  
姉妹都市提携に関する盟約**

オーストラリア国ビクトリア州フランクストン市及び同市民と日本国静岡県裾野市及び裾野市民は姉妹提携により相互の理解と親善の情を深め教育・文化及び産業・経済の交流を盛んにし、もって両市市民の福祉増進と両国の友好親善を促進し、ひいては世界の平和と人類の福祉に貢献するための、最善の努力を誓う。

ここに両市議会の賛同のもとに両市が姉妹都市として提携することを盟約する。

1982年2月22日

静岡県裾野市長 市川 武

フランクストン市長 議員 市川 武

フランクストン市長 議員 市川 武

議員 市川 武

市川 武

## 裾野市民憲章

わたくしたち裾野市民は、麗峰富士のもとその気高く美しい姿のように、人間性豊かな平和都市を理想として、この憲章を定めます。

- 1、働くことに喜びをもち、明るく健康なまちをつくります。
- 1、思いやりの心で、住みよいまちをつくります。
- 1、秩序をまもり、平和で安全なまちをつくります。
- 1、恵まれた自然を大切にし、美しいまちをつくります。
- 1、伝統を生かし、創造性をつちかい文化のまちをつくります。



フランス州姉妹都市提携



## 調印式次第

1 開式のことば

2 経過報告

3 あいさつ

裾野市長

ビクトリア州政府駐日弁務官事務所代表

4 調印

5 来賓祝辞

裾野市議会議長

在日オーストラリア大使館代表

6 閉式のことば

祝賀パーティ

終了午後1時予定

## 姉妹都市提携の経過

本日のオーストラリア、ビクトリア州フランクストン市と我が裾野市の姉妹都市提携調印に至る経過について御報告申し上げます。

このたびの国際姉妹都市提携につきましては、既に都市提携を締結している全国の各都市の経緯とは異なり、行政主導型ではなく、市民団体による民間外交の成果が今日の調印となったものであります。

昭和56年2月、28名の視察団がフランクストン市を訪問し、5月にはノエル・ファーガソン市長様以下25名のフランクストン市民が当裾野市を訪問され、お互いにそれぞれの街を確認し合い、急速に姉妹提携の気運が高まったのであります。

このような状況の中で、市長は、9月定例会市議会に都市提携に関する議会の同意を求め、満場一致で議決されました。以来提携に関する諸準備をすすめるとともに、フランクストン市側との協議を繰り返し実施した結果最終的に合意を得て、本日の調印式となったのであります。

この間、フランクストン市民が個人で2名、家族で2家族と団体1組がまた、ライオンズクラブを介して3人の留学生が当裾野市を訪れるなど、実質的な市民交流がなされております。

本日はフランクストン市側でも午前8時から市役所において調印式が執り行なわれておりますことを申し上げまして経過報告といたします。



両市長の囲い握手。



# 両市代表

梶野市長 市川 武

今日ここにフランクストン市と梶野市との姉妹都市提携が調印の運びとなりましたことは、御同慶の至りに存じます。

1987年末現在、全国で384市町村が37か国の各都市と姉妹提携が実施されており、静岡県においては当梶野市が16番目の国際姉妹都市提携となり、実質的に海外との交流が図られることとなったのであります。

これからは、両市々民の交流を益々盛んにし、友好親善の促進と両市の限りない発展を祈念するものであります。

市議会議長 広瀬 保

フランクストン市と梶野市との姉妹都市提携を心からお喜び申し上げます。

昨年の9月定例市議会に市長より提案があり、審議の決果満場一致で議決され、今回の調印に至ったわけであります。

今後は種々の分野で交流が増進されるわけですが、真にはだで触れ合う交際を通しながら両市民間の友情を深めあい、両市がますます発展することを強く念願し、お祝いのごことばといたします。

海外友好協会々長 原 隆二

オーストラリア・ビクトリア州のフランクストン市と当梶野市との国際姉妹都市提携を心からお慶び申し上げます。

両市は互いに地球の反対側に位置し、遠く隔っておりますが、美しい自然と親切でおおらかな人情を有する若々しいフランクストン市との提携を大きく期待するものであります。

これを契機に、両市が一層交流を密にし、末永く友好の輪が広がられますことを念願し祝辞といたします。

# メッセージ



フランクストン市長 ローガン・ワード

「善意」が今日ほど地球上に必要な時代はございません。これは、人々がお互いに意志の疎通を図り、理解しあい、更には、一国におけると同様に他国の人々がそれぞれにもつ差異を尊敬しあい、認めあうことによるのみ果たし得るものであると思います。

貴裾野市と当市フランクストン市間の力強い締結は、より深い相互理解と友情との発展につながるものでなければならぬと考えます。

意義深き姉妹都市提携への調印は、両市間における歴史的な重要性を証することになるとともに、姉妹都市提携実現に対する相互の熱望のいしづえになることと存じます。

市会議員  
姉妹都市協会々長 ノエル・フアーガソン

当市と裾野市との姉妹都市提携に関する盟約書の署名が取り交わされるに至り、フランクストン市民は、あけて、両市間の今後の組織的活動に強い期待を抱いております。

すでに、昨年4月には、当市からの訪問団が、裾野市民とより深い友好関係を結んでおり、若い層では、裾野市における三週間の滞在で親交を深めてきた学生や、文通・贈り物の交換などを行っている学生もおります。これらの活動は、とりもなおさず二国家間における相互理解を深めることにつながり、将来ともいよいよ親善の発展をもたらすものと存じます。

首席行政官 A・H・バトラー

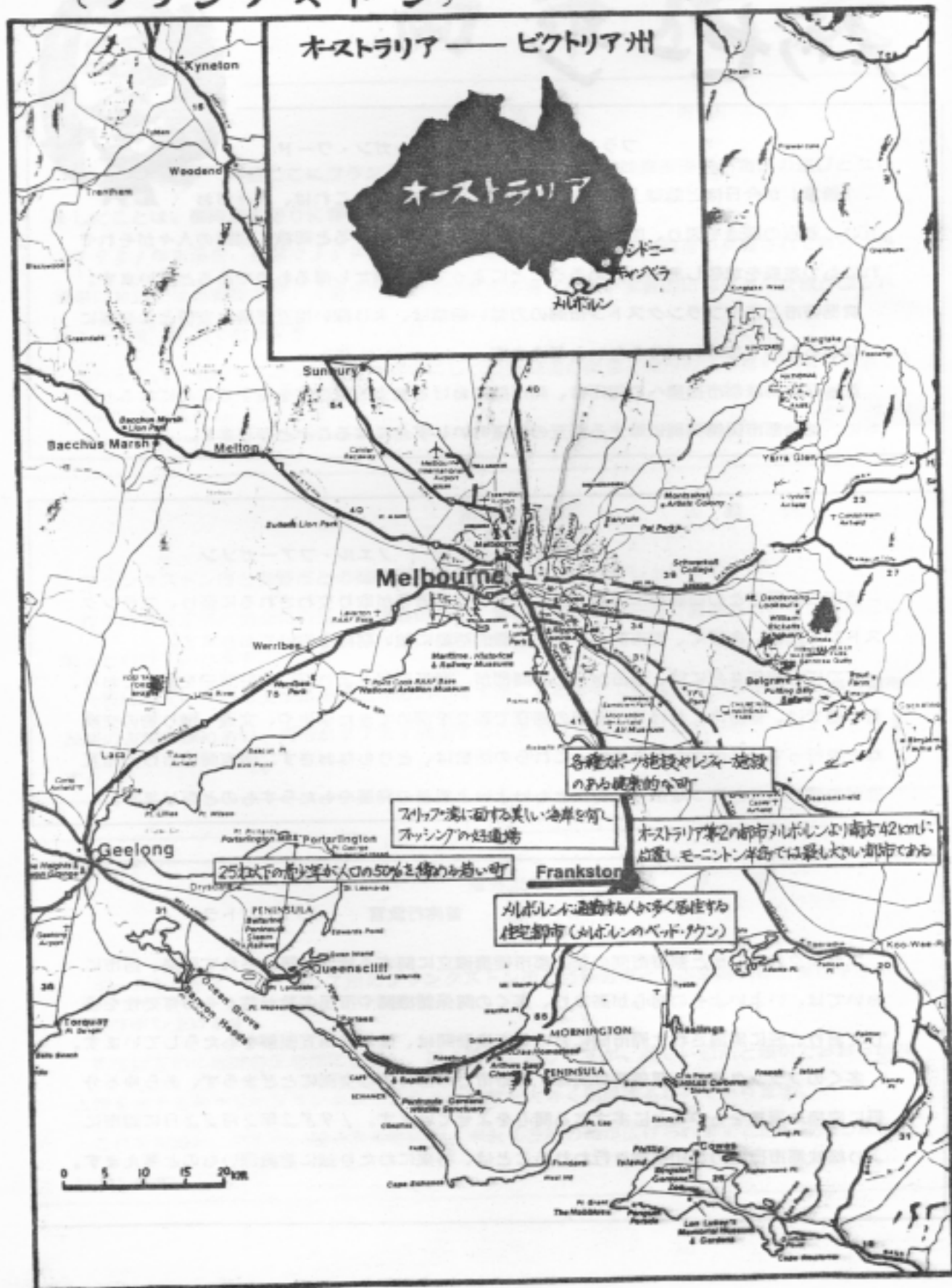
フランクストン市と裾野市間の姉妹都市提携確立に関する交渉が開始されて以来、当市においては、いよいよその関心が高まり、多くの関係諸機関や市民多数が益々その有効性を感じており、既に実施された両市間における交換訪問は、確かに相互理解をもたらしています。

多くのフランクストン関係諸機関は、裾野市との部分的な交流にとどまらず、あらゆる分野に密接な提携をもつことに多大なる関心をよせています。1982年2月22日に両市により姉妹都市提携の調印が執り行われることは、将来にわたり誠に意義深いものと考えます。

# FRANKSTON

(フランクストン)

# の紹介



## ◎ 概 要

小魚村であったフランクストンの開拓が始まったのが 1860年代で、それから百年後の1966年に市制が施行された。総面積 73 Km<sup>2</sup>は裾野市 (138 Km<sup>2</sup>) の約半分であるが、ほとんどが平野である。人口は約8万3千人で裾野市の2倍である。

## ◎ 施 設

州立学校 13校 (8,986人), 高校 3校 (2,940人), 技術専門学校 3校 (2,049人), 技術系大学 (カレッジ) 1校, 教育養成大学 1校 (494人), ローマンカトリック学校 4校, 幼稚園 11, 幼児看護施設 7, 公立図書館 1, 郵便局 6, ホテル 3, 遊歩道付巨大ショッピングセンター 1, 新聞社 1, ゴルフ場 4, 自動車乗込み映画館 4, その他 テニスコート, ボーリング場, クリケット場, ローラースケート場

## ◎ 市 議 会

- ・ 毎月3回 月曜日に開催され、このうち2回は夜8時半より開かれ、市民の傍聴が認められている。
- ・ 市議会議員は12名構成で、北・中央・東・南地区より各3名ずつ選出される。
- ・ 議員選挙は毎年8月に行われ、選出議員中より市長を互選する。議員は無給。

## ◎ そ の 他

- ・ 世界的に有名なフィリップ島 (野性のペンギン行列が見物できる世界で唯一の観光地) を含む開発途上のモーニントン半島のつけ根に位置するフランクストン市は自然の恵みを生かしたスポーツ・レジャー・軽工業を主体とした海浜都市として発展している。
- ・ 昭和55年2月に世界ボーリング選手権大会 (屋外の芝生の上で行なう英国の伝統的スポーツ) また、同年10月国際屋内テニス選手権大会を開催、市当局は大規模イベントの導入とスポーツ施設・ホテル等の拡充に積極的である。
- ・ オーストラリア連邦政府 商工大臣 フィリップ・リンチ氏はフランクストン市住民で、裾野市との姉妹都市縁組に大変関心を持たれている。
- ・ 季節は日本と逆 (日本が夏の時、オーストラリアは冬) で、雨が少なく乾燥していて温暖である。
- ・ 年間予算は 1,300万A\$ (約16億円) で、そのうち財産税が 620A\$ (約7.6億円) を締める。





## 裾野市海外友好協会の紹介

### ★ 会の歩み

我が裾野市が海外の市と国際姉妹都市縁組を結び、市のため若人のためになればと、大それた考えを持った市民が集り、初の会合をもつた日から早や3年3カ月が過ぎ、ようやくここに姉妹都市提携の調印を迎えるに至りました。これはひとえに多くの市民の理解ある御支援御協力の賜と確信し、厚く感謝申し上げます。

当初の賛同者は10名ばかりでしたが、とりあえず国内からという者、どうせ縁組を結ぶなら外国をとという者、外国でもアジア同志からという者、縁組を前提に市民の意見をという者.... など様々でした。

しかし、何とか姉妹都市縁組をとという考えは全員一致でした。

会を重ねるたびに意見が濃縮され、1979年の末には会の名称も「姉妹都市準備委員会」と決まり、組織的に活動が開始されました。共通した考えは、あくまでも市の出先機関や委託組織と混同されぬよう会独自の活動をしようということでした。市民への啓蒙を兼ね、アンケート調査実施のためプロジェクトチームを編成、また、市民のための無料英会話教室開設のため外国人教師や有名大学の教授等の招聘に奔走し、ようやくのことで開設の運びとなり、現在まで続けられてきています。

市民アンケート調査より提携後の市民の負担や交通の便、生活様式教育文化の内容等を考慮し、まず、アメリカ合衆国を選択し、それにオーストラリアを加えて対外的な交渉を開始しました。第一の手段として、アメリカのカリフォルニア、アリゾナ、テキサス、ニューメキシコの各州知事、オーストラリアはビクトリア州知事宛に裾野市の紹介文を書き送りました。早速、アリゾナとテキサスより希望に添える

4/23-24 豪日交流シンポジウム参加 (3名)  
1/24-25 流石村長から土産にいただいたオーストラリア  
ワインで顔を赤らめた会員達は、「我々の努力でもつと大きな輪にし

ような市を紹介するとの返事が届き、メキシコ国境のテキサス州エルバソ市の市長、助役夫妻が、公務の日程を練り合わせて当湖野市を訪問されました。ちょうどその頃、英会話教室を手伝いに来てくれていたカナダ人のロバート・ソーザンスキー氏が機会あるごとにカナダやオーストラリアを我々に紹介してくれました。一方、会の有志7名が海外の実情をこの目で確かめてこようとエルバソ市の視察に出かけました。その間にも残った会員たちで、市民より姉妹都市シンボルマークを公募したり、不定期だが「ざ、しすため しちい」という会報を発刊したり、次第に会員の活動にも熱がこもつてゆきました。豪日交流基金との折衝や大使館への連絡も密にし、既にオーストラリアの市と姉妹提携を結んでいる山梨県勝山村（人口2000人の小さな村）の村長をお招きして、交流提携の講話をお聴きしたのは年の瀬せまる12月のことでした。流石村長から土産にいただいたオーストラリアワインで顔を赤らめた会員達は、「我々の努力でもつと大きな輪にしよう。」と、その活動を誓い合いました。

R. ソーザンスキー氏の努力で、オーストラリアのフランクストン市よりコンタクトがあり、会員により広い角度から検討し、一つの結論がまとまりかけていました。年が明けるや否や現地を視察しようとの熱気があふれ、特別プロジェクトを組織し、訪問団に参加する者もしない者も一丸となつてその準備に取りかかりました。湖野市の日常を紹介するビデオ撮影班、パンフレットを英文にする班、土産や日本紹介の資料を集める班、荷物をまとめ梱包する班等、全員が一致団結しての活躍で準備が整いました。

原団長以下準備委員会のメンバーに一般観光団が加わり、総勢28名の訪問団がオーストラリアに向けて出発したのが、1981年2月

2 / 日翌々日の23日にはフランクストン市庁舎にて大歓迎を受け、参加者全員が深い感動を得、フランクストン市が姉妹都市の相手として文句のない立派な都市であるとの確信を得ました。

帰国の整理が終らぬ5月、早くもフランクストン市よりM. ファーガソ市長他24名の使節団一行が裾野市を訪問しました。準備委員会としては、フランクストン市訪問の際多大なお世話にあずかり、その御礼を含めて全面的に協力したいと市に申し出、歓迎委員会に幹事会として加えていただき、裾野市開びやく以来の大歓迎陣で迎えたのであります。

歓迎委員会の反省会の席上、「せつかくの会であるので、このまま解散せず姉妹都市提携へ向けての推進母体にしてほしい。」との強い願いもあつて、十分なる協議がなされ、『裾野市海外友好協会』という名称で新たに発足しました。その後、数々の文書や会則の作成、組織づくりのための会を重ね、同時に姉妹都市提携調印をめざして活動を展開してまいりました。6月9日、裾野市海外友好協会として発足以来、会員も日増しに増え、8月の市夏祭りに実施したオーストラリアン・フェアをはじめ、10月の歩行者天国にも参加し、市民意識の高揚に努めてまいりました。また、その間13回に及ぶ常任理事会と4回の理事会を開催し、会の発展と海外交流の推進を図つてまいりました。9月には市議会の議決を得てここに調印の運びとなり、誠に感慨無量なものがありますが、先般急逝された故R. ソーザンスキー氏の御努力に対し深い感謝を奉げるとともに氏の御冥福をお祈りします。

本市とフランクストン市との提携により、静岡県内の姉妹都市提携は16市町となりますが、他市町の進め方は参考にするものの、あくまでも市民サイドに立つて、会長を中心に市民のための、市民による市民の協会にすべく、努力していきたいと考えます。これからも市民の皆さんの温かい御理解と厚い御支援を賜りますようお願い申し上げます。会の歩みとさせていただきます。

★ 昭和57年度事業計画

4/23~24 豪日交流シンポジウム参加 (3名)

4/24~27 フランクストン市訪問来裾

5/上旬 総会

各部会・委員会別  
行事予定

市内交流希望団体との調整

○文通のまとめ、写真交換の準備

○留学生希望者の調整、下準備

○交換教師

○無料英会話教室の実施 (毎週土曜日)

○各中学校巡回展示会

第1回オーストラリア訪問団実施準備

オーストラリアンフェアの実施

6月 常任理事会

7月

8月 常任理事会

9月

10月 常任理事会

11月

12月 常任理事会、理事会予定

1月

2月 常任理事会

3月 理事会予定



# 会員募集



裾野市とフランクストン市との国際姉妹都市提携を契機に、『裾野市海外友好協会』では広く市民に呼びかけ、本会への加入を募っております。現在約150名の方のご加入をいただいておりますが、今後はさらに会員の拡大を図り、会の発展と友好親善の一端を担えればと考えております。

市民の皆様のご理解あるご協力をお願い申し上げます。

※ お申し込みまたはお問い合わせは、下記へ御連絡ください。

協会事務局 〒410-11 裾野市平松562 杉山博通  
TEL 3-3030

## 裾野市海外友好協会会則

### (名 称)

第 1 条 この会は、裾野市海外友好協会と称する。以下「この会」とする。

### (目 的)

第 2 条 この会は、姉妹都市提携のため、広く両都市の教育、文化、市民の交流を促進し、相互理解と国際親善に寄与し、市民文化の向上を計る事を目的とする。

### (事 業)

第 3 条 この会は、前条の目的を達成するため、この会で決議された事項を行なう。

### (会 員)

第 4 条 この会の会員は、会の目的に賛同する、個人、法人、団体、賛助会員をもって組織する。

1. 個人会員は、15才以上の者とする。
2. 法人会員は、市内の企業法人とする。
3. 団体会員は、市内の各任意団体とする。
4. 賛助会員は、この会の目的に賛同する個人又は法人とする。

### (会 費)

第 5 条 この会は、各々会費をもって運営されるものとする。又、この会は各々会費を徴収するものとする。

個人会員は、年額 ¥ 3,000。

法人会員は、1口「年額」¥ 10,000。

団体会員は、1口「年額」¥ 10,000。

賛助会員は、1口「年額」¥ 5,000。

### (役 員)

第 6 条 この会に、次の役員を置く。

会 長 1 名、副会長 2 名、会 計 1 名  
常任理事 若干名、理、事 若干名、監 事 2 名  
顧問及び名誉会長（この会が認めた者）を置く。

### (役員の出及及び任期)

第 7 条 会の役員及び任期は、次の通りとする。

1. 理事及び監事は、総会にて選出する。
2. 会長以下各役員は理事会で選出する。
3. 各役員任期は2年とし、重任をさまたげない。
4. 役員欠員が出た場合は、理事会で選出する。
5. 役員選出方法は、そのつど互選、推選、選挙等状況に応じて決める。

### (役員の仕事)

第 8 条 役員の仕事は、次の通りとする。

1. 会長は、この会を代表し、会務を総理する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長不在の時は、その職務を代行し、会の運営が滞りな

きよう計る。

3. 各理事は、理事会を構成し、審議事項を決議する。
4. 常任理事は、審議事項を討議し実質的運営事項の掌握を計る。
5. 会計は、会の会計業務をつかさどる。
6. 監事は、会の会計を監査し總會にて報告する。

( 名誉会長と顧問 )

第 9 条 この会に、名誉会長と顧問を置き、ともに理事会で承認されるものとする。

1. 名誉会長と顧問は、この会の理事会、常任理事会、總會に出席し意見を述べる事が出来る。

( 総 会 )

第 10 条 總會は、会長が召集する。臨時總會は、会長が必要と認めた時、これを召集する事が出来る。

1. 總會の議長は、会長がこれを委託する。
2. 議案は、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数の時は議長採決とする。
3. 總會の場合、いずれの時も会長名にて会員にて事前通知をする。
4. 欠席者の取扱いはすべて議長一任とする。

( 組 織 )

第 11 条 会には、各々理事会と常任理事会を置く。

1. 理事会は、会の会務の重要な議決権を持ち、会長が必要に応じて召集する。
2. 常任理事会は、会の運営事項の審議をする。
3. 常任理事は、会の事業の執行にあたり、事業円滑に推進するため運営事項の内容を必要に応じ、理事会や常任理事会で報告する。
4. 業務の遂行に当る各委員会を置く。

総務委員会には庶務委員、渉外委員、広報委員、組織拡張委員、事業委員会には親光親善委員、教育文化事業委員、財政委員会には財務委員、会計委員を置く。

( 事務局 )

第 12 条 この会に事務局を設置する。

1. 事務局は、〒410-11 裾野市平松562に置く。

( 財 政 )

第 13 条 この会の経費には、会費、賛助金、その他をもってあてる。

( 年 度 )

第 14 条 この会の会計年度は、毎年4月1日より翌年の3月31日までとする。

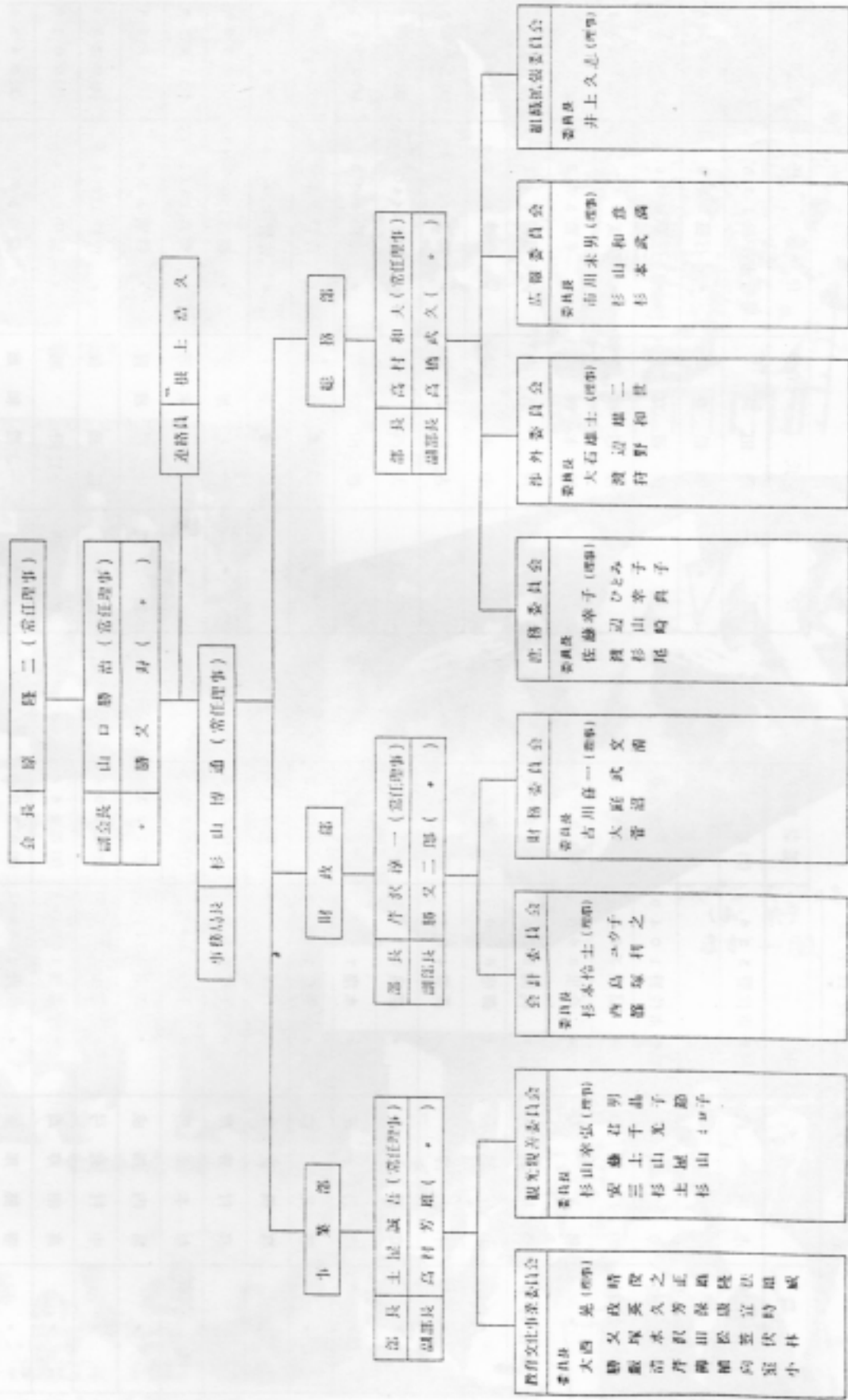
( 委任事項 )

第 15 条 この会の運営に必要な事項は、会長が随時定める事とする。

( 義 務 )

1. 会員は、すべて会費を納入しなければならない。
2. 会員は、会の目的にそい、積極的に事業に参加協力し、市民文化の向上に努力する事。

裾野市海外友好協会組織表





長野市海外友好協会役員名簿

役職	氏名	住	所	電話番号
名誉会長	市川 武	長野市佐野	356	(2)1011
会長	原 隆二	長野市佐野	1040	(2)1330
副会長	山口 勝治	富沢	5901	(2)3131
	藤 又 寿	今里	868	(7)1706
常任理事	高村 和夫	桃園	66-3	(2)3333
	土屋 基吾	御宿	800	(7)2771
	片沢 淳一	茶畑	407	(2)3490
	高 橋 之 み	深良	3161	(7)0830
	横 辺 千 正	水窪	76	(2)1157
	藤 又 二 郎	平松	421-5	(2)0072
	高 橋 武 久	石隠	427-9	(2)2511
	高 村 芳 雄	平松	427	(2)0247
理 事	杉 本 正 男	F和田	765	(7)0702
	坂 内 邦 成	御宿	1311-7	(7)1232
	中 村 真 弓	葛山	1220	(7)1606
	高 田 寿 雄	茶畑	1601-1	(2)2262
	服 部 邦 徳	佐野	1069-2	(2)0302
	木 宮 國 光	平松	321	(2)1487
	白 井 裕	葛山	999	(7)1689

役職	氏名	住	所	電話番号
理 事	岡 田 純 一	長野市平松	155	(2)0231
	植 松 春 雄	石隠	208	(2)0059
	渡 辺 克 美	佐野	806-1	(2)0013
	渡 辺 富 夫	深良	677	(7)1013
	鈴木 政 司	平松	522-2	(2)3369
	井 上 久 志	穂積	141-3	(2)3422 ※(7)0428
	中 西 基	佐野	1527	(2)0035
	古 川 喜 一	桃園	122-40	(2)1093
	大 西 晃	茶畑	1440 <sup>K7-</sup> 503	(2)4301
	杉 山 幸 弘	須山	603	(8)0341
	杉 本 恰 士	佐野	316	(2)4580
	佐 藤 幸 子	佐野	29-4	(2)4502
	大 石 雄 士	御宿	1500 <sup>17-</sup> 302	(7)2597
	市 川 末 男	深良	1123-23	(7)1476
顧問	中 村 雄 嗣	桃園	154	(2)0264
	広 瀬 保	佐野	1066	(2)0276
監 事	小野出 旭	須山	324	(8)0018
	一之瀬 和 雄	深良	370	(2)0454
事務局長	杉 山 博 通	平松	562	(2)3030
事務局員	坂 上 浩 久	葛山	767-2	(7)0635



敬談する両市代表



歓迎の挨拶をする  
市川市長



授業参観する一行（授業どころではない） 西小の学校で



歓迎レセプション。市役所401会議室

# フランクストン市 使節団を迎え



フランクストン市  
新市長 R・ワード夫妻



歓迎委員会主催の大歓迎パーティで 於日本ランド



手に手をとって輪になって……「愛の光」の合唱



真剣なこの手つき、この表情 新市長



歓迎の挨拶をする  
市川市長



使節団を代表して  
N.マカソン市長



歓迎レセプション。市役所 401会議室



中井公園でくつろぐ一行

# フロンティア市 使節団を迎えて

フロンティア市  
新市長 R.ワット大妻



ジパニーズ・ティを  
(お茶)  
ます一服



真剣なこの手つき、この表情 天晴一休荘にて



いよいよお別れ、別れの合唱をする顔も寂しさを隠しきれない



